第18講

課題文型の対処法（3）
論述問題の基本

チャプター1

レクチャー

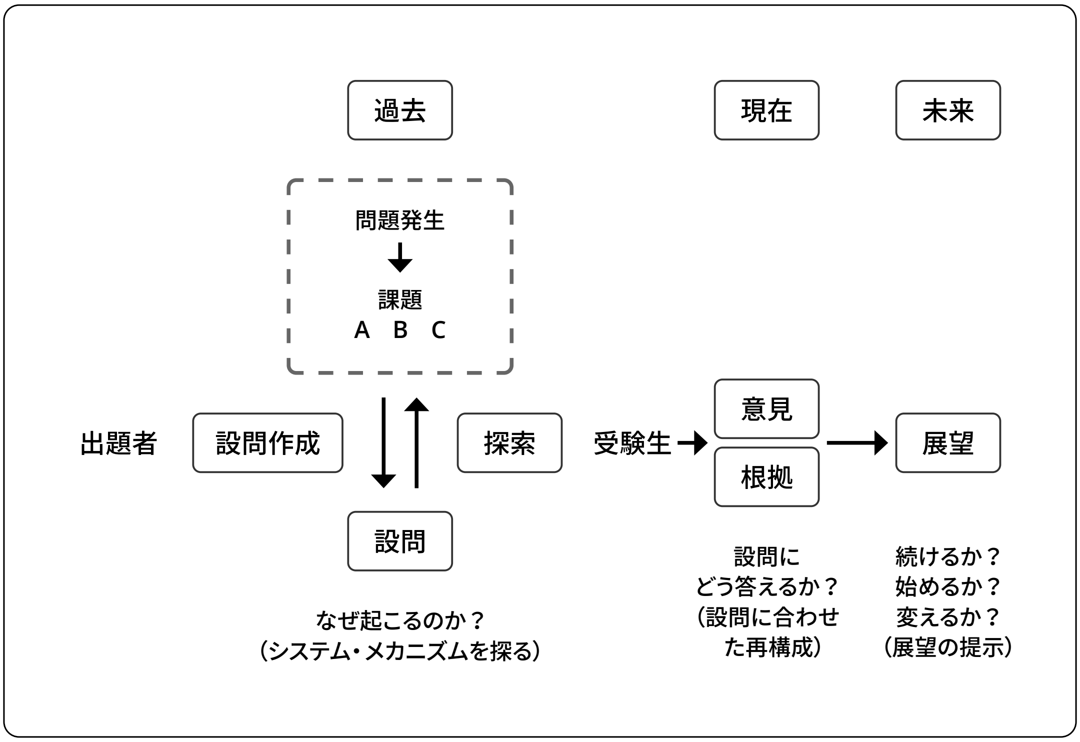
ポイント

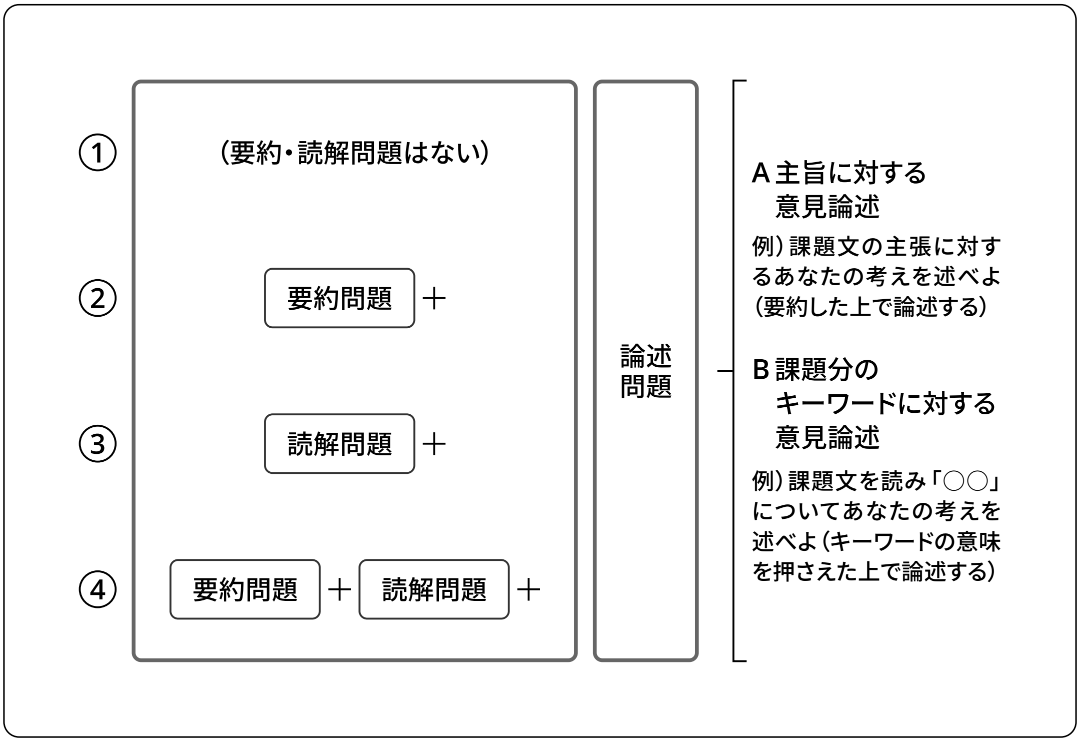
　課題文型の設問の一つに（　　　　　　　　）問題がある。
（　　　　　　　　）とは課題文の趣旨をもとに、自分の主張を論じるものである。
　まずは課題文の（　　　　　　　　）を把握し、
その主張に（　　　　　　　　）するのか、
（　　　　　　　　）を呈するのか、
筆者と自分の主張を（　　　　　　　　）するのかなど、どういう立場に立つかを決めよう。
　その立場を一貫させながら（　　　　　　　　）・
（　　　　　　　　）・（　　　　　　　　）を考えよう。

生徒メモ欄

教員記入欄

○ 論述問題出題者の意図


過去
現在
未来
問題発生
課題
A B C
出題者
設問作成
探索
受験生
意見
根拠
展望
設問
なぜ起こるのか？
（システム・メカニズムを探る）
設問に
どう答えるか？
（設問に合わせ
た再構成）
続けるか？
始めるか？
変えるか？
（展望の提示）


①
（要約・読解問題はない）
②
要約問題 ＋
③
読解問題 ＋
④
要約問題 ＋ 読解問題 ＋
論述
問題
A 主旨に対する
意見論述
例）課題文の主張に対す
るあなたの考えを述べよ
（要約した上で論述する）
B 課題分の
キーワードに対する
意見論述
例）課題文を読み「○○」
についてあなたの考えを
述べよ（キーワードの意味
を押さえた上で論述する）

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

下記の文章を読んで、「本当の平和」について600字以内であなたの考えを述べなさい。
（東洋英和女学院大学　人間科学部人間科学科保育子ども学科　推薦　2018　改題）

戦争の悲しみを体験したわたしたち老人は、平和の大切さをおそらくきみたち以上に痛感しています。だから、ほんとうは平和への思いを強くもつわたしたちが平和を実現して、それをきみたちにバトンタッチすべきでしょう。けれども、わたしたちはその平和をいまだに実現できていません。

たしかに、六十年前に大きな戦争が終わってから今日まで、日本には戦争はありませんでした。人々のくらしはゆたかになって、だれもがあたりまえに学校で学ぶことができるようになり、平均寿命は世界一にもなりました。

けれども、これが「平和」ではありません。

きみの目を自分や自分の周囲にとどめておかずに、どうか外にも向けてみてください。世界にはまだあちこちで争いが起こっています。何年も何十年も続いている戦争もあります。新聞を開けば、毎日のように武力による衝突でいのちを落とした人の記事がのっています。

たとえいま戦争はなくとも、とても貧しく、食べるものもなく、医療も受けられずに五歳までも生きられない子どもたちが、世界にはおおぜいいます。

その一人ひとりが、きみやわたしと同じ人間であり、同じようにかけがえのない、この世でただひとりの大切な存在であるにもかかわらず、です。自分や自分の住む国だけが安全で快適ならばそれでいいんだと思っているかぎり、わたしたちはいつまでたっても世界の平和を実現できません。

平和というのは、世界のどこかある場所にはあって、ほかのところにはない、というような状態をけっして指しません。

世界中のすべての人がおたがいに平和でありたいと手をつなぎ、助け合うときに、みんなの見つめる視線の先にあるのが「平和」です。世界のどこか一か所でも、人々のいのちがおびやかされているような国や地域があるのならば、世界はまだ平和ではないのです。

（出典：日野原重明「十歳のきみへ―九十五歳のわたしから」（冨山房インターナショナル、2006年4月18日、150−152頁）なお、原文は縦書きであるが、横書きに改めて転載した。

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　日野原氏は、戦争をしていない日本を「平和」と考えるのではなく、世界中のどこにも戦争や紛争が起きていない事、貧困や食糧不足がなく、医療から疎外されていない事など広い視野で考えてほしいと述べている。私はここに、生きている事を楽しいと思えるかという視点を提案したい。

　戦争がなく、平均寿命が世界一になったという日本でも命を脅かされる事がある。それがいじめや虐待だ。児童虐待は周知度向上のためか年々増加し、コロナ禍の在宅日数増加で家庭内暴力も増えているという。いじめの内容も無視や喧嘩ではなく恐喝など犯罪と呼べるものが増加しており、いじめのターゲットにならないように振る舞いに気を付ける必要があるという。はたしてそのような状況を平和と呼べるのだろうか。

　本当の平和とは万人に衛生的な環境での衣食住が保障される事だけではなく、人にこびることなく個性を発揮できる事だと考える。無論他者を傷つけない配慮は必要だが、必要以上に他者を慮って自身の望む事を行わない事は自分自身への虐待ではないだろうか。戦争中に思想弾圧が起きる事はままあるが、戦時中ではない学校や仕事場で、人間関係悪化の可能性のために自由に意見を言えない事もまた思想弾圧であろう。いかなる政治的宗教的社会的な弾圧もなく、躊躇せずに意見を言える事が本当の平和であり、それらは生きる事の喜びに通じてくると考える。

(595字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

私は、世界中のすべての人がお互いに平和であることを望み、お互いを思いやり、助け合う世の中になれば「本当の平和」に繋がるのではないかと思う。戦争を体験していない世代であるが、平和な世の中であることを願わずにはいられない。「本当の平和」とは、争いのない世の中であると私は考える。

そう考える理由の1つに、自分自身が戦争を経験していない毎日を過ごし、平和な毎日を過ごしていると実感しているからである。戦争については本やニュースで知ることがあるが、やはり怖いものだと思う。誰かを攻撃するのではなく、お互い受け入れ認め合えれば、より良い関係を築いていけると考える。
2つ目の理由として、家族に教えられてきた相手を思いやる気持ちを世界にも広めていけば、優しい気持ちになるのではないかと思う。学校で友達が困っている時に、声をかけ寄り添うことができれば、信頼関係が生まれる。自分も困った時は助けてもらえるからである。

したがって私は「本当の平和」を作っていくためには、一人ひとりが相手を思いやる気持ちが大切だと考える。相手が何に対し悩み苦しんでいるのか、力になってあげたい。その為に自分自身の家族や友達を大切にすること、毎日平和に暮らしていることに感謝することをもっと意識していこうと思う。そして、自分の身の回りだけでなく、地域のこと、世界のことにも目を向けていけたら「本当の平和」に繋がっていくだろう。

(593字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄